

高等学校保健体育科採点基準

4枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点
1	1	(ア)	個人及び社会		各 2 × 5
		(イ)	技能		
		(ウ)	自他や社会		
		(エ)	環境づくり		
		(オ)	明るく豊かで活力ある		
2	2	運動の学習に直接必要なものを取り扱うこと。		順序は問わない。 内容を正しくと捉えていれ ば、表現は異なってもよ い。	各 4 × 2
		体づくり運動からダンスまでの各運動に関する領域の学習と の関連を図って適切に行うこと。			
3	3	(ア)	困難さ		各 2 × 2
		(イ)	組織的		
2	1	(1)	自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運 動の行い方があること。	内容を正しく捉えていれ ば、表現は異なってもよ い。	6
		(2)	手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心 身の状態に気付き、仲間と主体的に関わり合うこと。	内容を正しく捉えていれ ば、表現は異なってもよ い。	6
	2	測定項目の測定結果は、あくまでも体力の要素の1つの側面 であることや、成長の段階によって発達に差があることなどを 理解させ、測定項目の運動のみを行ったり、測定値の向上のため に過度な競争をあおったりすることのないようにすること。		内容を正しく捉えていれ ば、表現は異なってもよ い。	9
3	1	体の中心線を軸に上半身を回転させて、ひねるような動き。		内容を正しく捉えていれ ば、表現は異なってもよ い。	3
		水中からのスタートとの関連から、引継ぎは水中で行わせる ようにすること。		内容を正しく捉えていれ ば、表現は異なってもよ い。	3
	3	名 称	ボディシステム	ボディ でもよい。	3
		ね ら い	互いの進歩の様子を確かめ合ったり、欠点を矯正する 手助けとしたりすること。		内容を正しく捉えていれ ば、表現は異なってもよ い。

高等学校保健体育科採点基準

4枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点	
4	1	図1	前方伸膝支持回転		各 3 × 2	20
		図2	懸垂振動ひねり			
	2	鉄棒を押して(肘を伸ばして)回転半径を大きくしたり、足を振動したりすること。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	8	
	3	平均台の高さが心理的に、狭さは物理的に運動のバランスを保ちにくくする要因となる。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	6	
5	1	直接圧迫止血法			3	26
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両肘を伸ばしたままで圧迫しているか。</li> <li>・組んだ手をしっかりと見て圧迫しているか。</li> <li>・垂直に体重をかけて圧迫しているか。</li> </ul>		2つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 2	
	(1)	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     著作権保護の観点により、 掲載いたしません。                 </div>			5	
	3	場合	①胸が濡れている場合。 ②貼り薬がある場合。 ③医療器具が胸に植え込まれている場合。	それぞれ2つ書かれていればよい。 場合と対応が対応しているものだけを正答とする。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 5 × 2	
	(2)	対応	①乾いた布やタオルで胸を拭いてから電極パッドを貼り付ける。 ②貼り薬を剥がし、肌に残った薬剤を拭き取ってから電極パッドを貼り付ける。 ③医療器具の出っ張りを避けて電極パッドを貼り付ける。			

高等学校保健体育科採点基準

4枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)		採 点 上 の 注 意	配 点	
6	1	図1 けさ固め		各 3 × 2	
		図2 上四方固め			
	2	相手が仰向けの姿勢であること。		順序は問わない。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 3
		相手とほぼ向き合っていること。			
		脚を絡まれるなど相手から拘束を受けていないこと。			
3	要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・右手の指が内側に向いておらず、左手の横につくことができていない。</li> <li>・あごが左肩を向いておらず、右肘、右肩が前に出ている。</li> <li>・右足を支点に回ることができていない。</li> </ul>	それぞれ1つ書かれていればよい。 要因と指導が対応しているものだけを正答とする。 問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。	10	
	指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左手と両足で三角形を作るイメージで構えさせる。</li> <li>・膝をつき、右脚を立てた姿勢から斜め前へ体重をかける。</li> <li>・横受身の姿勢を意識して、回転させる。</li> </ul>			
4	大内刈り から 大外刈り に連絡している。		2つとも合っているものだけを正答とする。	6	
5	伝統的な行動の仕方を大切にすることは、武道の価値を高めるとともに、人間形成に役立つことを理解させる必要がある。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	6	

40

高等学校保健体育科採点基準

4枚のうち4

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点
7	1	図1	直接フリーキック		各 3 × 3
		図2	間接フリーキック		
		図3	アドバンテージ		
	(2)	頭、胴体もしくは、足の一部でも、相手競技者のハーフ内にある。そして、競技者の頭、胴体もしくは足の一部でも、ボールおよび後方から2人目の相手競技者より相手競技者のゴールラインに近い位置にある場合。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	6
	(3)	ゴールポストの間とクロスバーの下でボール全体がゴールラインを越えたとき、ゴールにボールを入れたチームが反則を犯していない場合。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	6
	2	(1)	ショートサービスのレシーブやストップに対し攻撃する技で肘を高くしてラケットを脇の下に構え、ボールの左側(右利きの場合)をこすり打つ打法。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。
(2)		1ゲームが10分を過ぎても終了せず、しかも相互の得点の合計が18点に満たない場合。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	6
(3)		要因	返球する際のラケット角度が適切でない。	要因と指導がともに合っているものだけを正答とする。内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	8
	指導	ラケット面をやや上に向けて打ち返すことを指導する。			
3	(1)	③・④		全部合っているものだけを正答とする。	6
	(2)	走者1塁で右中間にヒットを打たれた場面を設定し、ノックをする者は、右中間にヒットになる打球を打つ。 守備者が走者の位置に応じて、走者の進む先の塁に動いたり、中継プレイに備えたりする動きを行い、走者の進む先の塁に送球する練習。		問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。	10

57